

立命館経済學

第 43 卷 第 5 号

1994年12月

飛田就一教授退任記念論文集

内 容

飛田就一教授退任記念論文集の刊行にさいして……………	奥 地	正 1
像の彼方に在るもの……………	奥 村	家 造 3
詩人と思想家……………	奥 村	剋 三 19
——ひかりと影のロシア像——		
カフカの作品が語るもの……………	山 村	哲 二 34
ピュタゴラス……………	日 下	部 吉 信 44
フレーゲにおける間接話法の問題……………	木 戸	正 幸 56
ニュートンとカント……………	松 山	寿 一 64
——近代力学と自然科学の形而上学的基礎づけの問題——		
ヤーコプ・フォン・ユクスキュルの環境世界論再考……………	秋 澤	雅 男 82
可能世界……………	高 木	敏 美 100
カント第三アンチノミーの前史……………	河 村	克 俊 109
ウィトゲンシュタイン『哲学探究』における		
「規則の問題」と「私的言語の議論」の関係について……………	大 石	敏 広 122
飛田就一 学兄のこと……………	西 川	富 雄 131
奇縁・好縁……………	小 林	茂 135
——飛田就一さんのこと——		
エッセー：「気づき」の精神生理……………	井 上	敏 明 140
——臨床的考察によるアプローチ——		
哲学者——飛田就一教授に——……………	日 高	正 好 151
飛田先生を送る……………	辻 井	榮 滋 152
翻訳：Ludwig Wittgenstein: <i>Letters to John</i>		
<i>Maynard Keynes 1913-1939</i> ……………	飛 田	就 一 153
飛田就一教授略歴・主要著作目録……………		173

立 命 館 大 学 経 済 学 会

立命館経済学 第43巻・第3号

川本和良教授退任記念論文集

川本和良教授退任記念論文集の刊行にさいして……………奥地 正俊

欧州における最近のM&Aについて……………清水 貞俊

ベルリントゥルネン委員会の成立と

啓蒙的プロパガンダ……………有賀 郁俊

——1850年代ベルリンの近代化とトゥルネン協会の実態——

Reversing Benchmarking: Japanese Management

in a Stalemate?……………Enno Berndt

初期マルクスの地代論……………岡崎 栄松

——『経済学・哲学草稿』を中心として——

わが国における近代的労働市場に関する研究……………三好 正巳

「国家シェア」概念に関する諸問題……………坂野 光俊

現代イギリス地域政策の段階と特質(6)-1……………若林 洋夫

核一軍産複合体は米国経済をどう変えたか……………藤岡 惇一

日本における戦後の経済発展とマクロ経済政策……………平田 純一

ドイツ三月革命をどう捉えるか……………山井 敏章

——「ブルジョア革命」論をめぐる若干の考察——

「三月革命」と官僚および軍隊……………川本 和良

——三月前期のプロイセンにおける「社会問題」と

社会政策および中間層政策の展開(13)——

学問と原体験：川本和良先生を囲む座談会

川本和良教授略歴・主要著作目録

発行所 立命館大学経済学会

立命館経済学 第43巻・第4号

論 説

銀行の社会貢献……………福光 寛

——現状と課題——

近畿経済計量モデルの開発とその応用……………稲田 義久

小川 義仁

研 究

戦後台湾工業化過程における技術導入と導入政策……………宋 立水

翻 訳

E・チルコート & R・チルコート

「マルクス主義の危機」……………角田 修一

発行所 立命館大学経済学会